

◆ 学 位	学 位 名		
	取得方法		
◆ 学 歴	大 学	佛教大学社会学部社会福祉学科 昭和 59 年卒業	
	大 学 院		
◆ 学 内 職 務 (平成 29 年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 入試・広報委員</li> <li>▪ 図書委員</li> </ul>		
◆ 担当授業科目 (平成 29 年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ ライフケア演習 I</li> <li>▪ アクティビティケア</li> <li>▪ 障害者の日常生活</li> <li>▪ 介護過程各論Ⅲ</li> <li>▪ ケアの本質</li> <li>▪ 加齢・障害の研究</li> <li>▪ 社会福祉援助技術演習Ⅳ・Ⅴ</li> <li>▪ 社会福祉援助技術実習指導 A・C</li> <li>▪ 障害者福祉</li> <li>▪ レクリエーション活動援助論Ⅰ・Ⅱ</li> <li>▪ 障害者スポーツの研究</li> </ul>		
◆ 職務上の実績に関する事項 (資格, 免許, 特許, 等)			
▪ 介護福祉士 (国家試験 平成 10 年合格)、レクリエーション・インストラクター (平成 17 年取得)			
◆ 専門研究分野		◆ キーワード	
実習教育	障害理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 社会福祉実習</li> <li>▪ レクリエーション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 介護実習</li> <li>▪ 障害理解</li> </ul>
◆ 研究概要	社会福祉実習の意義と効果 障害理解教育の推進とその課題について レクリエーション教育の意義と課題		
◆ 所属学会	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 日本社会福祉学会</li> <li>▪ 日本レジャー・レクリエーション学会</li> <li>▪ 日本仏教社会福祉学会</li> <li>▪ 日本福祉文化学会</li> </ul>		
◆ 主要著書 (5 件程度)			
書名・タイトル	単/共	発行年月日	発行所, 発表雑誌等, 発表学会の名称
▪ 『ケアマネジメント用語辞典』	共	平成 17 年 12 月 20 日	ミネルヴァ書房
▪ 『福祉小六法』2017 年版	共	平成 29 年 4 月 1 日	みらい
◆ 主要論文 (5 件程度)			
書名・タイトル	単/共	発行年月日	発行所, 発表雑誌等, 発表学会の名称
(論文)「本学における社会福祉士養成・社会福祉援助技術現場実習の現状と課題(その2)現場実習指導の課題 -実習学生と施設の事後評価比較をもとに-	共	平成 20 年 3 月 25 日	『四天王寺国際仏教大学紀要』第 45 号
▪ (研究ノート)「本学におけるレクリエーション・インストラクター資格取得状況とその課題 -資格取得卒業生アンケートをもとに-	共	平成 21 年 3 月	『四天王寺大学紀要』第 47 号

(研究ノート)「レクリエーション活動に関する一考察」	共	平成 25 年 9 月	『四天王寺大学紀要』第 56 号
(研究ノート)「学習体験による障害理解の進展」	単	平成 28 年 3 月	『四天王寺大学教育実践論集』創刊号
(研究ノート)「レクリエーション支援教育における教育的効果～「レクリエーション交流大会」に参加した学生の変容をもとに～	共	平成 28 年 9 月	『四天王寺大学紀要』第 62 号
◆ その他 (5 件程度)			
書名・タイトル	単/共	発行年月日	発行所, 発表雑誌等, 発表学会の名称
(学会ポスター発表) 「社会福祉援助技術現場実習指導の課題 – 実習学生と施設の事後評価比較をもとに-」	共	平成 16 年 10 月 10 日	日本社会福祉学会第 52 回全国大会
(学会ポスター発表) 「四天王寺大学及び同短期大学部におけるレクリエーション・インストラクター資格取得状況とその課題」	共	平成 20 年 11 月 30 日	日本レジャー・レクリエーション学会第 38 回全国大会
(学会ポスター発表) 「レクリエーション支援教育における『交流大会』に参加した学生の変容について」	共	平成 25 年 11 月 10 日	日本レジャー・レクリエーション学会第 43 回全国大会
(学会発表)「レクリエーション支援教育における『交流大会』に参加した学生の変容にみるレクリエーション教育の意義に関する一考察」	共	平成 27 年 12 月 6 日	日本レジャー・レクリエーション学会第 45 回全国大会
(自主企画シンポジウム発表)交通弱者の移動を阻害する迷惑ランナーについて	共	平成 28 年 9 月 17 日	日本特殊教育学会第 54 回大会